

シグマ研究委員会核データ専門部会
ガンマ線生成核データ W.G. 昭和 57 年度第 3 回会合議事録

日 時 昭和 57 年 7 月 16 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 30
場 所 原研本部第 6 会議室
出席者 水本, 浅見 (哲), 五十嵐 (原研), 川合 (将) (NAIG),
井頭, 播磨, 北沢 (東工大)

配布資料 :

- (1) Al : ENDF/B-IV のデータの検討 (播磨)
- (2) Fe の photon production data の評価について (井頭)
- (3) γ -Ray Production Data File (水本)
- (4) W核データ評価粗案 (浅見)
- (5) ^{238}U γ -ray production (川合)
- (6) NGROGI コードの中で用いられる Pre-equilibrium Formalism (川合)

議 事

I 作業経過報告

各メンバーから作業状況とタイム・スケジュールについて報告された。

- (1) 今年度は, ^{27}Al について, capture gamma-rays が dominant である領域を除いて評価作業を行なう。今迄は ENDF/B-IV の $^{27}Al(n, X\gamma)$ のデータを検討した。(播磨)
- (2) Fe について File 12 と File 15 を作成する。Capture γ Spectrum は実験データ及び CASTHY による計算から組立てる。Nonelastic γ は Chapman et al. の実験データ及び GNASH の計算結果を採用する。(井頭)

- (3) ^{95}Mo に対する CASTHY の output を File 15 (MT = 102) に,
 ^{93}Nb に対する GROGI の output を File 15 (MT = 3) に入れる試みを行なった。(水本)
- (4) 現在までにWの各 isotope の resonance parameters に関する文献をほぼ収集した。近日中に REPSTOR ファイルを作成する予定。(浅見)
- (5) $^{238}\text{U}(n, \gamma)$ 反応によるガンマ線スペクトルの CASTHY による計算結果及び NGROGI コードの中で用いられる pre-equilibrium formalism について説明。(川合)